

9月24日～30日は、結核・呼吸器感染症予防週間 及び非結核性抗酸菌症啓発週間です。

正しく知ることが予防の第一歩！この機会に結核について知ってください。

結核は、まだまだ身近な病気です

日本では1年間(令和7年)で

新登録
患者数

: **9,899人**

死亡者数
(概数)

1,474人



★結核とは、結核菌によって主に肺に炎症を起こす病気です。結核患者の咳などで菌が空気中に飛び散り、それを周りの人が直接吸い込むことで感染します。

結核は過去の病気ではなく、今でも「年間1万人近く」の新規患者が発生しています。

★また近年、結核と似た症状の非結核性抗酸菌症（NTM 症）の患者も増加しています。NTM 症は、人から人へ感染しませんが、感染が長期にわたり続いた場合、肺の傷みが進むことがあります。

働き世代の結核

- 働き盛りの方は職場などで多くの人々に接する機会があるため、結核の診断が遅れた場合、**感染が周りに大きく広がってしまう恐れ**があります。
- 日本では、結核患者の約6割は65歳以上の方ですが、**就労世代(20歳以上65歳未満)**の方々も**約3割**を占めています。
また、若年層（20-29歳）の新規患者の9割を外国生まれの患者が占めています。
- 多様な人が働く現代において、誰もが協力して感染予防に努める必要があります。



長引く咳… 結核かも！？

結核の主な症状

肺結核の症状は、風邪等の呼吸器系の病気の症状とよく似ています。
次のような症状が続くときは、医療機関を受診しましょう。



・2週間以上続く咳、痰 ・発熱 ・体のだるさ

・胸の痛み ・食欲の低下 ・体重減少 ・寝汗

など

※非結核性抗酸菌症（NTM症）も同じような症状です。

結核は働きながら治せます

・結核と診断されても、きちんと薬を服用すれば治ります。
早期に発見できれば入院せずに、仕事をしながら治療を
することができます。



・もし入院が必要となっても、退院基準を満たせば、通院に切り替えて
仕事をしながら治療をすることができます。

症状がなくても、年に1度は胸部レントゲン検査を受けましょう！

結核の感染経路は空気感染です。結核菌は空気中を漂う時間が長く
誰もが感染する可能性があります。

自分自身の重症化を防ぐことはもちろん、家族や職場への感染を防ぐ
ためにも、早期発見・早期治療が重要です。

症状がなくても、年に1度は胸部レントゲン検査で
肺の健康状態を確認しましょう。

和歌山市の結核の現状は、
和歌山市感染症情報センターのホームページに掲載しています
<http://www.kansen-wakayama.jp/page/page005.html>

